

地域の方々と豊かな暮らしを創造する

# パールだより

## 4月号

社会福祉法人パール

〒150-0035 東京都渋谷区鉢山町3-27  
電話 03-5458-4811

<https://www.shibuya-pearl.or.jp>

発行日 令和6年4月1日

発行人 新谷弘子 制作編集 入江祐介

パールが大切にしている基本三理念 ー 人間の尊厳 ー 個人の尊重 ー 共に生きる社会づくり



# 創立25周年 ご挨拶



社会福祉法人 パール 理事長  
社会福祉活動教育研究所 会長  
新谷 弘子

社会福祉法人パールが、社会福祉法人の認可を受けて、25周年を迎えました。

1999年に郷里の山口県萩市と共に、厚生労働大臣から東京都渋谷区鉢山町の施設と萩市と同時に社会福祉法人の認可が降りました。東京は渋谷区渋谷にて東京都の指導を受けて、高齢者や障がいを持つ方々に対する介護支援を如何に対応するかの研鑽を受けておりました。

山口県萩市は、私共の郷里ですが、まだ地域の中で福祉に対する理念が遅れており、萩市役所の福祉課や社会福祉協議会で今後を案じておられて、私に相談がありました。私も萩に多くの高齢者親族がおりますし、案じて居りました。気持ちよく協力して、毎月萩に帰り講座を担当、萩の自宅を開放して、萩市と相談しながら、在宅介護支援サービスを企画しておりました。よって、東京と萩市と同時に社会福祉法人の認可が下りたのです。萩もかなり福祉サービスが積極的になりました。

厚労省の当時の政策統括官、大島一博氏が言われました。2040年までに過去50年間の変化で日本の高齢者は300万人増。その中身は80歳以上が400万人増、80歳以下は少子・高齢化で減少。福祉の課題は、「80歳以上の暮らしをどう対応するか」です。また現在の65歳の方が100歳生きる確率は、女性は16%、男性は4%という予測をされていると言われました。つまり、高齢者問題は、女性問題とも言えると考えます。

わが国の近年の歴史を振り返ってみました。1979～1995年まで東京都知事を務められた鈴木俊一氏が1969年在宅福祉元年と言われて、在宅ホームヘルプの必要性を主張されました。21世紀に向けて地域福祉計画を発表。その委員長を中村優一氏「東大卒・放送大学教授・日本社会事業大学名誉教授」が、務められました。福祉施設だけでなく、地域福祉計画も立てるようにと、各市区町村に指令を出したのは、当時、東京都福祉局長を務めていた、パールの元理事・石崎富江氏でした。当時のパールは、まだ社会福祉法人の認可が下りていませんでした。

次のページ→

高齢者が増加しても介護者が不足で、施設入所が困難になりつつあるとも言われました。何より「予防対応・日常の食事指導・医療・介護・看護・生活指導」QOLを高めることは、地域の役割と言えます。高齢化時代が進行して行く中で当時、東京都は在宅介護に関する指導を進めて来ました。

パールの渋谷で活動していた事業所に社会福祉活動教育研究所（以後・社活研と言う）は、母校の社会福祉学科の一番ヶ瀬教授・吉澤教授達の指導でスタート。私は皆さんの指導で、会長に就任。先生方は実行委員として参加・活動されました。高齢者介護・障がい者介護をどのように対応したら良いか、関係者皆で当時の東京女子医大（当時の短期大学）看護学部と、東京都の協力を得て協定を結び、実修室で研修を重ね・指導を受けました。老年看護学のケア実習も、車いすの移乗方法、体位交換。食事介助方法などを実習室で指導いただきました。さらに教授の方々から具体的にテキストも書いて下さいました。

「社活研」を基盤として、都庁の指導も受け訪問介護の始まりです。ノウハウはプロ並みの指導を受けて、渋谷区・港区近辺で社活研は近辺の在宅介護のニーズに対応してきました。看護師が直接同行して指導を受けました。多数の「社活研」のスタッフは研鑽を重ねることが出来、介護の実力を付けて感謝でした。

更に東京都から色々な指導を受けました。主な内容は食事についてのノウハウ、配食の方法、保健所の指導を受けた厨房の環境作り、食事の作り方などでした。

自宅などで作った食事を親切なつもりで配食をしても、結果、食あたりの問題がおきたら、誰が責任を取るの？とのこと。都の指導で、「ちゃんと保健所の指導を受けた場所での、食事作りを模範的にしてほしい。」と「社活研」に言われました。



渋谷のマンションの1室を改造する費用も都から出していただき、適切に食事を作り、渋谷区内に配食をして、大好評でした。数年後に渋谷区内に数百ケースの配食を実施し、そのための自動車や自転車も都から用意していただきました。

介護ノウハウについての指導は、東京女子医大看護学部の実習室を提供していただき、教授の方々から具体的に指導を受けて、訪問介護の始まりです。ノウハウはプロ並みの指導を受けて、東京都の認可を受けて、渋谷・港区近辺の在宅介護を受けてきました。看護師が直接同行して指導を受けたこともありました。多数のスタッフが研鑽を重ねることが出来、感謝でございました。

配食事業に関しての業務に必要な自動車・自転車なども提供していただいた事は前述のとおりです。訪問介護の実務も色々な対応方法を具体的に教えていただきました。

今後社会福祉法人開設の準備の為、福祉の先進国と言われていたヨーロッパを視察して来ることになりました。将来、渋谷区に社会福祉法人の施設を作る予定の研鑽を始めたのです。日本赤十字社社長・近衛忠輝氏のご紹介でイギリスを視察。続いてフランス・スウェーデン・西ドイツなどをまず視察。続いて東京都の支援で、オーストラリア・アメリカ等も視察。世界の地域福祉や施設等も研鑽を重ねて来ました。

その成果を「よりよい地域ケアを探る国際セミナー21世紀の社会福祉を目指して」**全社協の大ホールで、2日間にわたって盛大に開催出来ました。**300人余の多数の参加者は、日本全国の福祉の専門家が集まって下さり、イギリスから重度障がい者の「アン・マックフアーレン」を招待してゲストスピーカーとして実情を話してくださいました。

このような成果を生み、今後の活動にどのような影響を及ぼすか、今後の活動となり、これに加えて会議全体の包括的評価がなされることになりました。

顧みますとこのセミナーは、今後の我が国の地域福祉の充実を図るうえで、また福祉に対する国民意識の改善に対し、たくさんのキーワードがあったように思います。最後に、厚労省・東京都・全社協・都社協を始め、多くの企業や諸団体の厚意に対し、感謝の気持ちをお伝えいたします。

1999年4月1日に私の郷里・山口県萩市の地域福祉事業「萩パール在宅介護支援センター」と渋谷区の「社会福祉法人パール」に社会福祉法人の認可が降りました。県を挟んでの認可であるため、厚労省認可の法人となりました。

パールは「特養・ショートステイ・デイサービス等」の施設計画と在宅サービスの「訪問看護・訪問介護・キャブ移送・配食・福祉用具等」それらに加えて、「福祉総合プラザ」として事業展開。厚労省や東京都・渋谷区から高く評価されました。

高齢者の居場所づくりは、どんどん広がって「**茶道・書道・リハビリ・お話し・折り紙・麻雀・小物作り・料理作り・数独・音楽**」など、参加者がドンドン増えて、いずれのクラブのリーダーは、プロ級の素晴らしい方が地域の方で恵まれているのです。



高齢化が進む今日、高齢者や障がいを持つ方々が、住み慣れた地域で安心して安全に生活が出来るように、地域での支え合いの環境を作り出す必要に迫られています。問題は、「高齢者だけでなく、**子どもテーブル、おもちゃの図書館、育児相談、生活相談**」など、**人間らしく生きていく事への支え合いを実現することでした。**21世紀の地域福祉計画に沿った、地域を皆で支え合う地域支援事業がパールの課題です。

一時、コロナ禍で中止をしましたが、地域の希望を受けて、2023年6月から再開。地域に素晴らしいリーダーや、サポーターが居られるので、参加者が増えてきました。互いに頑張り始めて好評です。また地域の連合町会長が後援会長を務めていただいています。2024年3月15日には、日本赤十字社東京都支部から「**東京都フレイル地域支援赤十字奉仕団**」を結団していただきました。

地域皆で地域を守っていく、環境が整ってきたのは心強いと考えます。

社会福祉法人パールが努力して、地域を守って行きたたく頑張って参ります。

# 特別養護老人ホーム パール代官山



# 誕生日会



特別養護老人ホーム・パール代官山  
生活相談員 稲田 剛



今月は、パール代官山で毎月行われている『お誕生日会』のご紹介です。

お誕生日会では、おやつにちょっと贅沢なデコレーションケーキをご提供させていただいています。

他のご入居者から、お祝いの言葉があり、皆でHappy Birthdayを歌って、会がスタート！

主役には、他ご利用者から好きな食べ物や生き立ち、ご家族のことなどの質問コーナーがあります。

昔を思い返し涙ぐまれるかたや、ご家族のことを楽しそうにお話し下さったり、毎月親睦が深まる、皆が楽しみにしている会です。



## デイサービスセンター パール鉢山



# 初春の☆ ボランティア！！



3月4日(月)

### 慶応学友会 さん

パール開設当初から季節毎に、歌声を聴かせて下さった「慶応学友会」の皆様にお越しいただきました。今回は「嬉しいひな祭り」をはじめ、待ち遠しい「春」に因んだ曲を、利用者の皆さんと共に歌っていただきました。



3月5日(火)

### オルホワ さん

優雅な音色と華やかな衣装が毎回好評の「オルホア」の皆さんが今年度2度目の来所。今回もチーム・プレイ豊かな演奏&ダンスで、「気分はハワイ」な1時間を提供していただきました。



3月26日(火)

### 実践女子学園中等部 吹奏楽部 さん

毎年、春にパール鉢山を訪れてくださる実践女子学園の吹奏楽部の皆さんが、実に4年ぶりに演奏会を開いてくださいました。今までは高等学部の生徒さんでしたが、今年は卒業式を終えた3年生も交えた、総勢28名の中学校の生徒さんが、若々しい音を聴かせて下さいました。



## デイサービスセンター パール鉢山

# 令和5年度第2回 運営推進会議 開催

令和5年度「第2回 運営推進会議」を開催しました。今回はご利用者家族3名、地域の有識者の皆様にお集まりいただき、活発な意見交換が行われました。

### <パール鉢山：挨拶>

- この10年間、利用者の皆様には概ね健康を維持していただき、頻回なメンバー・チェンジもなく、高い稼働率を推移してきました。しかし、今年度はお元気な方を含む多くのご利用者が入所、入院が相次ぎ、稼働率が大きく激減しました。しかしながら重介護を要する利用者率は増し、「全体で何かを行う」と言うよりはそれぞれの状態に合わせた「個別対応」を要するようになり、職員の業務量はむしろ増加している状態となりました。
- 12月に渋谷区より、定期的に行われる「実地指導」を受けました。今回は「特に特記すべき指導はなし」との評価をいただきました。今後も法令を遵守し、しっかりとした運営を心がけていきたいと思っております。
- 12月に、食事中に意識消失をされ、救急搬送対応を行った事例が生じました。「エコノミークラス症候群」を起因とする血栓が脳への転移によるもの、との診断をいただきました。早急な判断と、職員への指示と対応ができたので、今回は幸いにも一命を取り留めることができました。「エコノミー症候群」というと飛行機等で同じ姿勢で長時間過ごすことで発症することで知られています。また、血栓は、特に肺に転移すると重篤な事態に陥る危険があります。ご利用者に「いつもと違う様子」が生じた際は一人で判断せず、多職種で連携・協力して対応していくことが大切です。今後もその姿勢を重要視して、皆様の安全を守っていく所存です。



### <ご利用者家族より>

- 102歳になる本人と息子夫婦の3人暮らし。パールデイは20年以上利用しています。1月に我々家族2人がコロナに感染したが、予防接種をしていたので大事には至らず。2月に本人がSS中に発熱。救急搬送され、尿路感染と診断されました。しばらく寝たきりだった為、以前より足腰の力や嚥下力の低下が顕著。家の都合で今月末まで退院を伸ばしていただき、デイサービスとSSの交互の併用生活を再開する予定です。食事がミキサー食となり、オムツに切り替わるのでご迷惑をおかけすると思っておりますが、これからもよろしくお願い致します。

■私と2人暮らし。パールデイのお陰で生活が成り立っています。最近脚力の低下が顕著で、自宅で転倒することが心配です。肉と甘いものが大好きで、1回の食事摂取量は少ないのですが、暫くするとすぐに欲しがります。パールでは「お出掛け」していることが分かっているので、催促は無いようですが、夜が長いので、排泄が大変です。



■要支援の時からパールデイを利用しています。日々、母と向き合い、パールデイのお世話になりながら上手に「手抜き」をしながら日々を送っています。寝たきりではありませんが、最近かかるとに褥創ができましたが、デイの看護師さんからも助言をいただきながら治りました。無表情で過ごしていますが、本人は色々解っていると思います。心が動けば、言葉もちゃんと発するので、寄り添ってまいります。

#### <地域の有識者>

■いつもパールの受付を手伝い、利用者の皆様とは挨拶を交わさせていただいております。本日、ご家族の皆様より様々なご苦勞と介護の工夫をうかがい、パール館内での職員の取り組みや、ご利用者のお過ごし方が良くわかり、感動いたしました。大変勉強になりました。地域にとって、有難い存在だと思いました。



#### <まとめ>

皆様から伺ったご家庭での様子や、ご家族の苦勞・希望を考慮し、今後も個別援助サービス提供に努めます。

災害時や感染症発生を想定した「業務継続計画（BCPの策定）」及び高齢者虐待に向けた推進に励んでまいります。

地域の皆様が気軽に立ち寄ることができる開かれた事業所作りをモットーとして、明るい虐待等が発生しない事業所であり続けます。



# 美味しく花粉症対策

栄養・調理センター  
栄養士 江守 由衣

## 花粉症とは



花粉症は、花粉に対して人間の体が起こすアレルギー反応です。くしゃみ、鼻みず、鼻づまりのほか、目のかゆみ、涙目、さらには肌荒れなどさまざまな症状がみられます。冬の寒さが明け、ようやく暖かくなってきた今春の訪れと同時に花粉はやってきます。

## 美味しく花粉症対策

強い花粉症の症状には病院による適切な治療が必要となりますが、普段の食事からも対策をすることが出来ます。

### 花粉症の方におすすめしたい食べ物



#### ① ヨーグルト

ヨーグルトに含まれる乳酸菌は花粉症の症状緩和に役立つと考えられています。

#### ② れんこん

れんこんに含まれるポリフェノールやタンニンは喉の痛みや鼻水を抑える効果が期待されています。



## 鶏とれんこんの酢炒め煮

### 材料 (3~4人分)

- |       |   |       |      |   |      |
|-------|---|-------|------|---|------|
| ・鶏もも肉 | ・ | 250 g | ・酒   | ・ | 大さじ2 |
| ・れんこん | ・ | 250 g | ・みりん | ・ | 大さじ2 |
| ・赤唐辛子 | ・ | 1本    | ・砂糖  | ・ | 大さじ1 |
| ・サラダ油 | ・ | 大さじ1  | ・酢   | ・ | 大さじ4 |



- ① 鶏肉は室温にもどして3cm四方に切る。れんこんは皮をむいて縦半分に切り、幅1cmの半月切りにして水でさっと洗い、水気を拭く。
- ② フライパンにサラダ油を熱して鶏肉を入れて中火で両面を焼きつけ、れんこん、赤唐辛子を加えて30秒ほど炒める。
- ③ 酒をふり、調味料を加えて煮立ってきたら蓋をして弱火で10~12分煮る。汁気が残っているようであれば蓋を取って中火で煮詰めて器に盛る。



# 祝 パール創立25周年記念



特別養護老人ホーム・パール代官山  
施設長 入江 祐介

令和6年4月1日で、我が社会福祉法人パールは創立25周年を迎えることになりました。開設当初から携わってきた職員としては、感慨深い思いで一杯です。

施設開設当初は、特別養護老人ホームの運営はもちろん、デイサービスの運営も初めてのこと。その上、1年後には介護保険制度が開始となり、その準備も同時に実施するなど、目まぐるしい1年間。後ろを振り返る暇も余裕もなく、理事長を先頭に皆で力を合わせ、突き進んできました。「ご利用者の困った声に断らない」「パールに不可能の文字はなし」が法人のモットー。ご利用者数が増える度に職員を増やし、気が付けば約170名を抱える法人へと成長していきました。良い地域に恵まれ、良いご利用者に恵まれ、良い職員に恵まれたことに感謝・感謝です。

地域共生社会・地域包括ケアシステムがキーワードとして使われていますが、パールは施設開設当初から一貫して続けてきた姿勢そのものです。

パールの特徴は、施設を基盤としながら、施設サービス～在宅サービスまで、あらゆるサービス部門を兼ね揃え、まさしく福祉総合プラザとしての機能を持っているところです。超元気高齢者から要介護状態の方まで、全てのライフスタイルを一貫して網羅・サービス提供できる強みがあります。

また、施設の中で完結するのではなく、積極的に地域に出向き、地域を変革していく地域アプローチの視点と実践力を持っているところです。これからも、地域の必要とするサービスを創造し、地域と共に助け合い・成長していく施設として、その役割を担っていく所存です。



最後に、開設から現在まで、何もかも初めて尽くしで、一気に駆け抜けてきた25年。人で例えれば、まだまだ社会に出たばかりの新人と言ったところでしょうか。初心を忘れることなく、チャレンジ精神を持って、これからも地域のニーズにあったサービスを創造し、社会福祉事業を通じて地域貢献をして参ります。



# 夜間想定防災訓練



「**備えあれば憂いなし**」もしもの時を想定し、何が起きても迅速に対応できるように日頃の準備が大切です。

令和6年3月22日（金）福祉総合プラザパールの夜間想定防災訓練を行いました。



今回の訓練は図上訓練を行い、各階のフロアマップを活用して、夜間に万が一火災が起きた時に夜勤者3名と宿直者1名の職員でどのように避難誘導するのか、一人一人の職員にどのように対応するのか質問しながら訓練を進めていきました。来年度の新入職員と令和5年度に入職した職員が対象の新任研修のプログラムの一環として訓練を実施。夜間想定避難訓練を見てもらいながら、夜間に特別養護老人ホーム50名のご利用者と、ショートステイ10名のご利用者をどのように安全に避難誘導すればよいのかを、皆で検討しながら訓練を進めていきました。

進めていきました。

その時々場面を想定し「火災通報システムが作動しました。どうしますか？」等、返答に困り考え込む時もありましたが、どうしたら良いのか考える事が訓練になります。各職員、本当に火災が発生した時に、どの様に動けば安全に避難誘導できるのかを考える良い機会になりました。その後は、実際の消火設備の確認と取り扱いを学びました。

一人一人の職員が、いつ何があっても冷静に対応できるように今後も訓練を続けてまいります。



パール副施設長・防火管理者 高橋 浩宣



令和6年度 第32回 ～みんなの絆～

# えびすふれあい広場

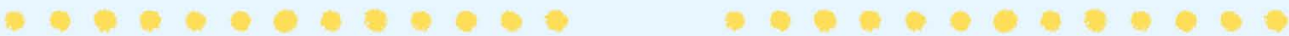
- ★ 日 時：令和6年5月19日（日） 9:30～15:00
- ★ 場 所：鉢山中学校（渋谷区鶯谷町9-1）



**パールは今年も参加**  
 （バザー&クレープ販売）  
**させていただきます！！**

バザー用品の  
ご寄付も  
お待ちしております  
ます👏💖

## 皆様、どうぞ遊びにお越しください♪



代官山エリアにプロ・アマ問わず  
 様々なアーティストが続々登場！！

## フェットドラ ミュージック 2024

- ★ 日 時：令和6年5月25日（土） 13:40～14:00
- ★ 場 所：ヒルサイド



**「パールライブ」**  
**音楽グループも出演します！**



## 皆さん応援にお越しください！お待ちしております♪

 <span style="color: green; font-weight: bold;">2024年3月</span> 		
1	金	福祉会計来所
2	土	ひな祭り特別献立(厨房)
3	日	誕生日会(特養)・特養おやつバイキング(厨房)
4	月	主任会議(特養)
5	火	経営会議・品質会議・ワーキンググループ会議 ケアマネ会議(居宅)・カンファ(訪看)(用具)
7	木	カットボラ(デイ)
10	日	特養おやつバイキング(厨房) 経営会議・ケアカンファ・ワーキンググループ会議
12	火	カットボラ(特養)・運営推進会議(デイ)・サ責会議(ホールケア) ケアマネ会議(居宅)・カンファ(用具)
13	水	訪問看護連絡協議会会議(訪看)
17	日	誕生日会(特養)
18	月	第3回理事会15時～17時 理事会弁当提供(特養)
19	火	経営会議・品質会議・ワーキンググループ会議 ケアマネ会議(居宅)・カンファ(用具)(訪看)
20	水	春分の日
21	木	地域福祉サービス事業者協議会研修
22	金	新人研修&防災訓練
23	土	給食会議(厨房)
24	日	特養おやつバイキング(厨房)
26	火	経営会議・ケアカンファ・ワーキンググループ会議 ケアマネ会議(居宅)・カンファ(用具)
27	水	経口維持会議(特養)
28	木	サービス担当者会議・虐待防止委員会(特養) 在宅カンファ(ホールケア)
31	日	特養おやつバイキング(厨房)

3月業務実績報告		
施設介護稼働率	特養	98.9%
	短期入所	78.7%
通所介護稼働率	一般クラス	68.6%
	認知クラス	68.6%
訪問介護1日平均利用件数	本部	43件
	原宿	13件
訪問看護	1日平均利用件数	14件
居宅介護支援実績件数	本部	90件
	恵比寿	102件
	原宿	109件
福祉用具	貸与者数	162件
配食サービス	1日平均利用食数	136食
キッチンパール	1日平均利用食数	15食

# パール ホームページ リニューアル

しました👏



<https://www.shibuya-pearl.or.jp/>

各種ニュースや献立表など、最新情報の更新やパールが行っている事業をご紹介します。採用やサービスについてお問い合わせのフォームもご用意がございますので、是非ご利用ください。

